第1回リフレかやの里官民対話 協議内容

日時	令和6年3月18日(月)13時00分~15時00分
場所	元気館 2 階 視聴覚室
参加者	㈱合縁奇縁 代表取締役 中本裕之
(敬称略)	対話アドバイザー:三交興業㈱ 営業推進部長 西野彰二
	対話アドバイザー:与謝野町観光協会 会長 安達幸三
	農林環境課 課長 三田大智
	農林環境課 主事 森岡佳祐
司会(進行)	三田大智

会議の目的	・官民対話の基本事項の共有
(ゴール)	・提案概要の説明を受け、次回対話の論点、課題を明確化する。

◇協議内容(主な意見)		
1.会員制による運	・提案に対し評価をするのではなく、提案内容を実現可能なものにするため提	
営について	案者と町とアドバイザーと対話を重ね、共同で事業スキームを作り上げていくこ	
	とを目的とした官民対話である。(三田)	
	・アドバイザーとして招へいされているため、提案内容をジャッジするつもりはな	
	い。内容に対し私の経験、知識を活かして助言をし実現可能な事業スキーム	
	を作り上げていきたい。(西野)	
	・提案した内容の事業に関しての経営は素人のため、対話を通じて色々なアド	
	バイスをいただきたい。(中本)	
	・一棟貸とした理由は、現状の部屋数では、ホテル業として経営が成り立たな	
	いとの判断し、企業の福利厚生の施設としての活用も検討している。(中	
	本)	
	・会員が想定通り集まるかどうかは不明。リフレかやの里周辺にはグラウンド、体	
	育館があるので学生の合宿としての利用も想定している。(中本)	
	・多くの方が泊まれるようにするためには、大浴場を宿泊スペースに改修やグラ	
	ンピングスペースの設置等の工夫が必要。(中本)	
	・構成員の齊藤氏、㈱王宮の橋本氏は町外の方で、この提案を進めていく中	
	でうまくいかないということがあれば途中離脱する可能性があるのではないか。	
	(西野)	
	・地域のことは地域で解決したいという思いがあり、リフレかやの里が休館と聞い	
	たときは寂しかった。ひとりになってもやりきたいという思いがある。構成員の方	
	は、与謝野町のことが好きで一丸となって取り組んでいる。(中本)	
	・一棟貸、会員制による収支の根拠が今後必要になる。(安達)	

	・集客のために、齊藤氏や橋本氏の力が必要。継続して運営できるかどうか
	は、2~3年の経営状況で判断できる。(中本)
	・会員制は運営や改修にかかる費用を集める手段のひとつである。クラウドファ
	ンディングも手段のひとつ。(西野)
	・会員制の宿泊特典として、ちりめん街道での着物体験等の与謝野町全域で
	の観光が体験できる中心的スポットになれば、与謝野町を好きな人、応援す
	る人が会員になってくれる。こういったプランを企画して会員を集めることも手段
	のひとつである。(西野)
	・リフレかやの里でランクの高いサービスを提供するためには、大規模な改修が
	必要。現状の施設の規模でどのような活用をすれば、顧客満足度を維持でき
	るかを考えなければならない。(安達)
2.改修について	・改修費を㈱合縁奇縁の構成員3名でを積立で開始をする。(中本)
	・町として施設が有効活用でき、町民のためになると判断できれば、補助金を
	支出できる可能性はある。(三田)
	・自治体からの補助金には、さまざまな要件が付き制限されることがある。それ
	に縛られることがあるので自治体からの補助金には良し悪しがある。(安達)
	・施設の譲渡ができれば成功だと考えている。譲渡後に施設の改修を自身で
	行っていきたい。(中本)
3.地域振興につい	・地域振興として、宿泊された方に野菜の収穫体験ができる特典を考えてい
τ	る。 (中本)
	・地域振興の方法は多数あり、経済を回すということもひとつの方法である。
	(西野)

次回の日程と論点	開催日(予定): 令和6年4月中旬
	■論点
	・運営のコンセプト、アイデアについて
	・構成員の役割について

資料 ①提案の基本事項(㈱合縁奇縁)